

平成 30 年 9 月 3 日
 鹿児島地方気象台

平成 30 年の梅雨入り・明けに関するお知らせ

気象庁では、毎年、春から夏にかけての実際の天候経過を総合的に検討し、各地の梅雨入りと梅雨明けの確定及び梅雨時期の特徴のまとめを行っています。

平成30年の梅雨についてとりまとめた結果は以下のとおりです。

地域	梅雨入りと階級(注1)			梅雨明けと階級(注1)		
	事後検討	当初発表	平年	事後検討	当初発表	平年
奄美地方	5月27日ごろ(+)*	5月7日ごろ	5月11日ごろ	6月26日ごろ(0)	6月26日ごろ	6月29日ごろ
九州南部	6月5日ごろ(+)	5月26日ごろ	5月31日ごろ	7月9日ごろ(-)	7月11日ごろ	7月14日ごろ

地域	梅雨時期(奄美地方は5月～6月、九州南部は6月～7月)の降水量	
	地域平均降水量の平年比と階級(注2)	代表地点の降水量、カッコ内は平年値
奄美地方	116% (+)	名瀬 724.0mm(668.8)
九州南部	128% (+)	鹿児島 776.0mm(771.2) 宮崎 1059.0mm(738.6)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「日ごろ」と表現した。記号の意味：(+)*：かなり遅い、(+):遅い、(0):平年並、(-):早い、(-)*:かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 記号の意味：(+)*：かなり多い、(+):多い、(0):平年並、(-):少ない、(-)*:かなり少ない、の階級区分を表す。

梅雨時期の概況

奄美地方

5月は、下旬前半にかけて天気は周期的に変化しましたが、下旬後半は、前線が奄美地方付近に停滞したため曇りや雨の日が多くなりました。このため、5月27日ごろ梅雨入りとなりました。

6月は、前線は中旬まで奄美地方から沖縄付近に、下旬前半は九州南岸付近に停滞したため、25日にかけて曇りや雨の日が続きました。26日以降は、前線が朝鮮半島付近まで北上し、奄美地方は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が続きました。このため、6月26日ごろに梅雨明けとなりました。

九州南部

5月中旬は中頃にかけて晴れた日が多くなりました。その後下旬にかけて天気は短い周期で変わりぐずついた時期もありましたが、6月上旬は4日まで晴れの日が続きました。5日以降は九州南部付近に前線が停滞したため曇りや雨の日が多くなりました。このため、6月5日ごろに梅雨入りとなりました。

6月下旬の前半まで前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。6月下旬後半は前線が朝鮮半島まで北上したため晴れた日もありましたが、7月上旬は台風や九州まで南下した前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。9日以降は前線が朝鮮半島から中国東北区まで北上して活動も弱まり、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、7月9日ごろに梅雨明けとなりました。

なお、梅雨時期の降水量は、九州南部、奄美地方ともに「多い」となりました。